

令和 2 (2020)年度 基盤研究 (S) 審査結果の所見

研究課題名	動的不斉転写に基づく高度な不斉増幅を可能にする動的キラ ル高分子触媒の開発
研究代表者	杉野目 道紀 (京都大学・大学院工学研究科・教授) ※令和 2 (2020)年 9 月末現在
研究期間	令和 2 (2020)年度～令和 6 (2024)年度
科学研究費委 員会審査・評 価第二部会に おける所見	<p>【課題の概要】</p> <p>本研究は、キノキサリンポリマーの右及び左巻らせんキラ ル構造に着目し、動的に制御する方法を開発するものであ る。この現象を基に高選択性不斉触媒と不斉増幅反応に展開 するとともに、自己不斉増幅触媒反応に利用することを検討 することとしている。</p> <p>【学術的意義、期待される研究成果等】</p> <p>不斉触媒反応の開発から自己不斉増幅反応及び自己不斉増 幅触媒反応の達成を目指した学術的に関心の高い研究であ る。新しいらせん高分子の開発や人工酵素的な触媒開発の設 計なども視野に入れており将来性が高い。また、予備的知見 も十分であり、大きな研究成果が期待される。</p>